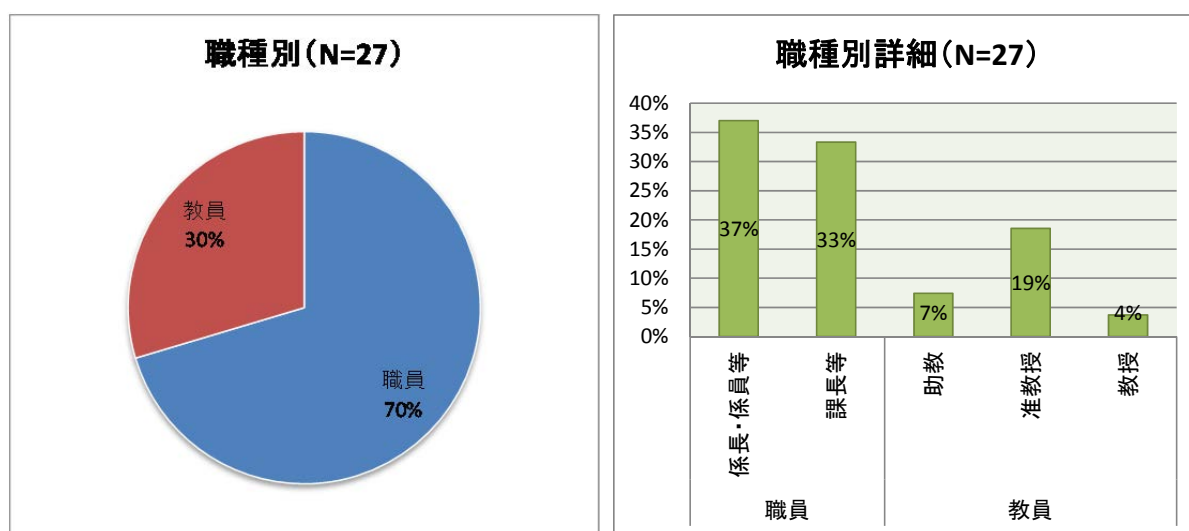
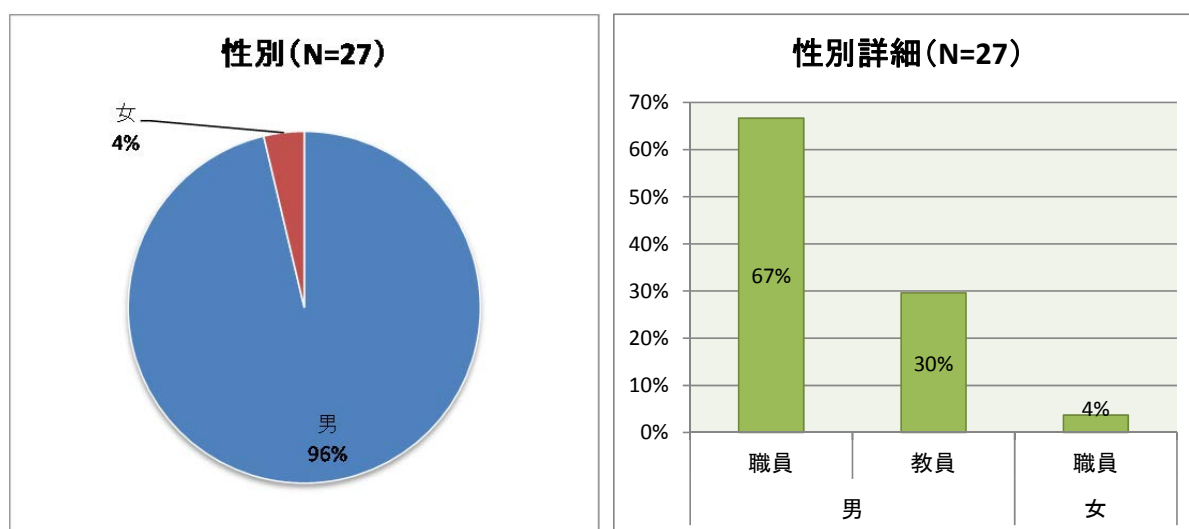


○ 参加者について

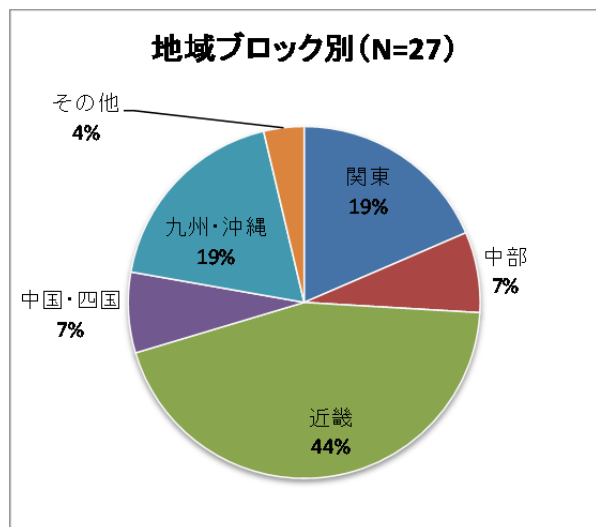
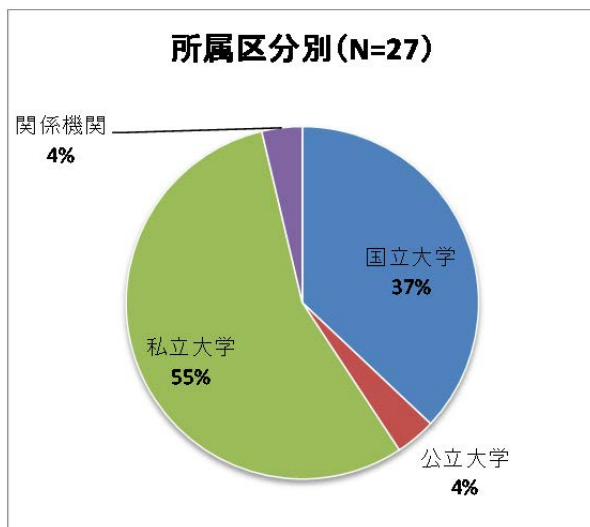
勉強会には、計 27 名の方が参加しました。参加者の属性分析は、申し込み時に参加者からご提供頂いた所属や職種等の情報を基に行いました。なお、「参加者」とは、国公立大学、短期大学及び関係機関の「通常会員」、運営スタッフである「幹事」及び「運営協力者」及び講師を含んでいます。



職種別の参加者比率は、職員が 70%、教員が 30%でした。また、職員の職層を「課長等」及び「係長・係員等」、教員の職層を「教授」、「准教授」及び「助教」に分けて示します。職員の係長・係員等が 37%と最も多く、次が職員の課長で 33%でした。職員の係長・係員等及び課長等の参加が多いのは、今回のテーマである IR に関心が高いこと、米国の IR の日常業務を扱った勉強会であることと関連していると考えられます。

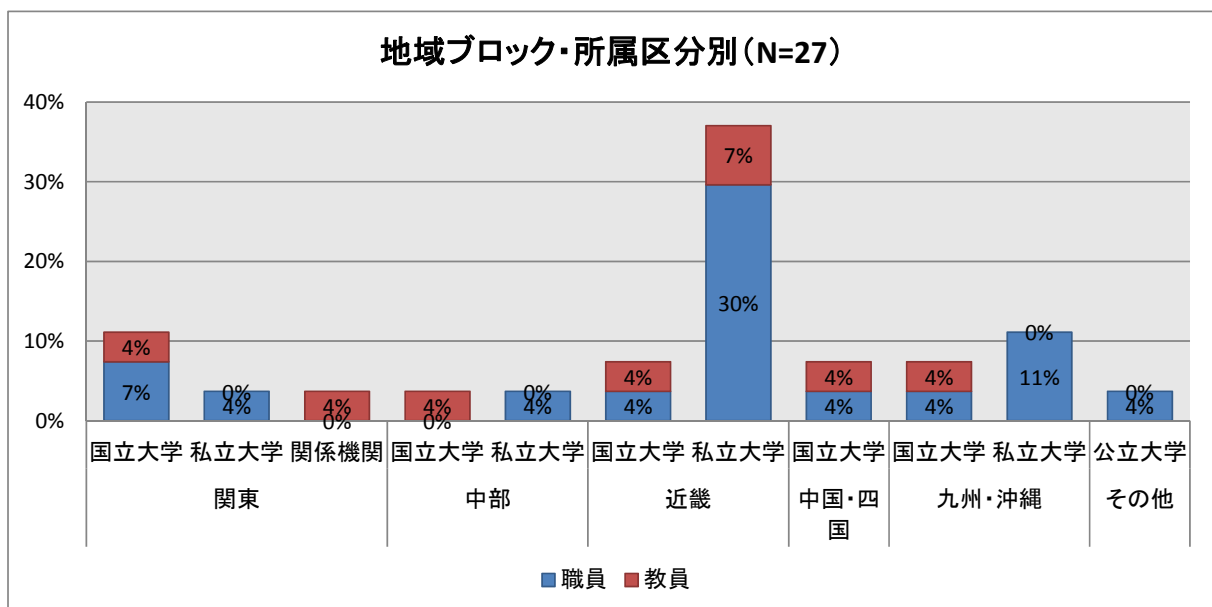


性別は、男性が 96%、女性が 4%でした。また、職種別とあわせて確認すると、男性職員が 67%と最も多く、次が男性教員で 30%であり、男性の係長・係員等が全体の 37%を占めていました。



所属区分別では、私立大学が 55%を占めており、国立大学は 37%でした。また、地区ブロック別では、本集会の開催が立命館大学であったことから、近畿地区の参加者が 44%と多く、次が関東地区及び九州・沖縄地区で 19%でした。なお、北海道・東北地区からの参加者はいなかったことが、他の地区ブロックからは満遍なく参加していました。

地域ブロック・所属区分別と職種別をあわせて確認すると、私立大学職員の参加状況については、近畿地区の 30%が最も多く、次が九州・沖縄地区の 11%でした。また、国立大学職員の参加状況については、関東地区が 7%でした。



(大野 [鳥取大])